群馬県利根郡みなかみ町　MINAKAMI DIET NEWS

みなかみ議会だより

●写真／谷川岳肩の小屋

30号

平成25年（2013年）
2月1日発行

12月定例議会

24年度補正　一般質問 …… 3,9～12

真沢ファームは『真沢の森』内にある農業体験施設

今回の指定管理者一覧（すべて全会一致可決）

施　設　名	指定管理者名	指定管理期間	町からの指定管理委託料（万円 / 年）※予定
月夜野学童クラブ	月夜野わんぱくクラブ運営委員会	平成25年4月1日～3年間	532
交流促進センター・太助の郷	太助の郷農産物等生産者の会	平成25年4月1日～3年間	150
真沢ファーム交流施設	月夜野振興公社	平成25年4月1日～5年間	0
湯桧曽公園	ゆびそ塾	平成25年4月1日～3年間	30
湯桧曽地区足湯	ゆびそ塾	平成25年4月1日～3年間	13.6

発議

●議員派遣について

※8頁参照

●町議会委員会条例の一部改正

地方自治法の改正に伴う、委員会条例の一部改正です。

報告

●水上中央地区集道一号線整備に伴う上越線上牧・水上間（下り線）こ道橋新設工事変更施行協定締結の専決処分

のり止め工工事（四二〇万円）の追加です。

専決処分承認

●一般会計補正予算

※3頁参照

（全会一致承認）

第6回 12月 定例議会

12/5-14

発議2件、報告1件、専決処分1件、24年度補正予算5件、条例制定・改廃9件、指定管理者の指定5件、その他2件が提出され、審議の結果、すべての議案を原案通り可決しました。

地域主権一括法※施行に伴う条例制定

指定管理者指定ほか

地域主権の枠組みづくり

条例

●町一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例の制定

廃棄物処理や清掃に関する法律の改正により、一般廃棄物処理施設に技術管理者の資格に関する基準を定めるものです。

（全会一致可決）

●町下水道条例の一部改正

下水道法の改正により、公共下水道の構造の基準、終末処理場の維持管理について定めるものです。

（全会一致可決）

●町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定

水道法の改正により、水道管布設工事監督者の配置基準、資格基準、水道技術管理者の資格基準について定めるものです。

（全会一致可決）

●町道路構造基準条例の制定

道路法の改正により、道路構造の技術的基準を定めるものです。

（全会一致可決）

●町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定

道路法の改正により、道路標識の寸法を定めるものです。

（全会一致可決）

●町営住宅等整備基準条例の制定

公営住宅法の改正により、公営住宅等の整備基準について定めるものです。

（全会一致可決）

●町都市公園条例の一部改正

都市公園法の改正により、都市公園の設置基準を追加するものです。

（全会一致可決）

●町移動円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（通称：バリアフリー法）の改正により、移動等円滑化のため必要な特定公園施設の設置に関する基準を定めるものです。

（全会一致可決）

●町高齢者生きがいセンター条例の廃止

高度障害者デイサービスセンターとして利用されることとなったため、条例も廃止となりました。

（全会一致可決）

その他議案

●町監査委員の選任

次の方が再任されました。任期は四年です。

澁谷正誼（まさよし）さん（後閑）

（全会一致可決）

●町土地開発公社定款の一部変更

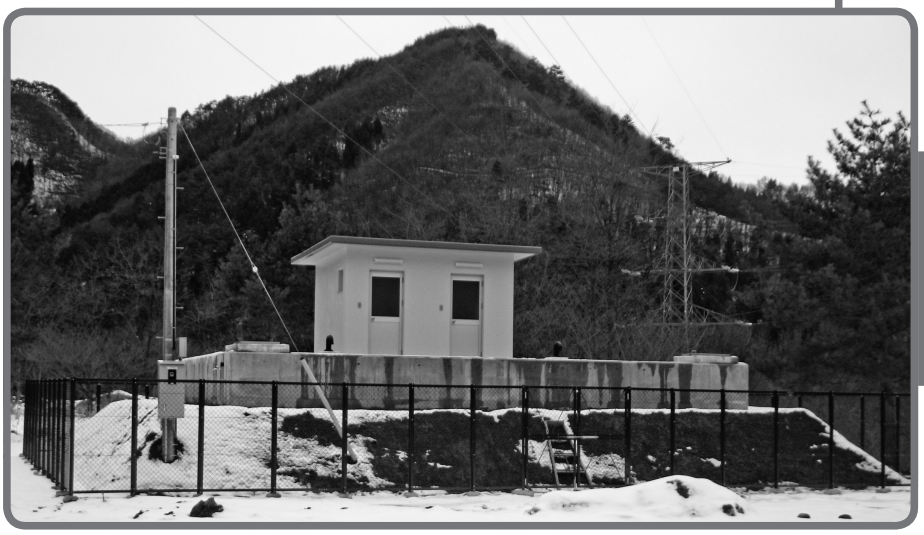
造成した団地を、賃貸借により民間の事業用地や福祉施設用地に提供する事業展開が盛り込まれました。

（全会一致可決）

※地域主権一括法
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律です。

24年度補正予算（12月補正／全会一致可決）　単位:万円

項目			補正額	主な内容	総額
一般会計			33,094	歳入 地方交付税／23,061 国庫補助金／▲2,215 不動産支払収入／3,934 町債／7,150　ほか 歳出 県貸付金繰上償還／34,272 利根沼田学校組合負担金地方交付税／▲2,672 農林水産業費／900　ほか	1,390,186
特別会計	国民健康保険		2,421	歳入　繰越金／2,421 歳出　保険給付費及び拠出金／2,421	296,021
特別会計	後期高齢者医療		216	歳入　繰越金及び受託事業／216 歳出　電算システム更新及び健診費／216	26,916
特別会計	下水道事業		250	歳入　繰越金／250 歳出　特定環境保全公共下水道費／300　ほか	102,340
特別会計	水道事業	収益的 収入	500	水道料金／500	43,543
特別会計	水道事業	収益的 支出	360	動力費／300 減価償却／▲123 企業債利息／▲174 光熱水費／310　ほか	43,062
特別会計	水道事業	資本的 支出	700	川上地内配水池新設工事／700	43,889



低水圧地域解消
川上地区に配水池が新設されました。

町有地を県に売却
不動産支払収入の町有地（川上地内）

みなさんからの請願・陳情 審査結果一覧

	No.	件名	提出者	付託委員会	審議結果
請願	4	オスプレイ配備の撤回を求める請願書（9月定例会継続分）	利根沼田平和委員会 会長　佐藤 卓三	総務文教	趣旨採択
陳情	3	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 執行委員長　石関 貞夫	厚生	採択
	4	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 執行委員長　石関 貞夫	厚生	採択
要望書等		水上火葬場の改築及び存続について	みなかみ町区長会水上支部 支部長　久保 喜英		（資料配布）
		水上小学校金管バンド活動助成について	水上小学校PTA会長　田村　司 水上小学校金管バンド保護者会 会長　蝋山 優紀		（資料配布）
		上越新幹線上毛高原駅と上越線水上駅の名称変更について	猿ヶ京温泉やど倶楽部 代表　田村和寿・生津淳一		（資料配布）
		上越新幹線上毛高原駅と上越線水上駅の名称変更について	みなかみ町区長会水上支部 支部長　久保 喜英 水上駅前共栄会 会長　笛木 國武		（資料配布）
		上越新幹線上毛高原駅と上越線水上駅の名称変更について	湯原温泉街振興会 会長　渡部 弘之		（資料配布）
		上越新幹線の列車名及び上越新幹線上毛高原駅・上越線水上駅・上牧駅の名称変更について	上牧温泉旅館協同組合 代表理事　石坂 欣也		（資料配布）
		①高齢者、要援護者等社会的弱者にかかる除雪システムの構築について ②積雪に伴う倒壊及び落雪による人的被害の危険性がある空き家等の所有者に対する勧告等について	みなかみ町民生委員児童委員協議会 水上支部長　石坂 是義 みなかみ町区長会水上支部 支部長　久保 喜英		（資料配布）
		藤原地区ガソリンスタンド支援に関する要望	藤原上区長　田村今朝雄 藤原中区長　林　孝一 藤原下区長　林　次男 宝台樹民宿組合 組合長　大竹 示夫 水上高原民宿組合 組合長　中島仁三郎 みなかみ町商工会藤原支部 支部長　高橋　泉		（資料配布）

総務文教
常任委員会

視察報告

10/9-10
◇参加者：議員6名・町職員3名

栄村役場で説明を受ける

災害復興の取り組み

長野県栄村の被災地域

東日本大震災、その翌日の長野県北部地震での災害から、いかなる取り組みで復興されたかを研修しました。

山崩れにより谷間が埋め尽くされた被害場所

特産品を生かしたまちづくり

道の駅『ゆのたに』（新潟県魚沼市）

地場産商品を主として販売し集客に成功している「道の駅」の戦略ぶりを研修しました。

観光バスの利用も多い
（道の駅『ゆのたに』）

厚生常任委員会

視察報告

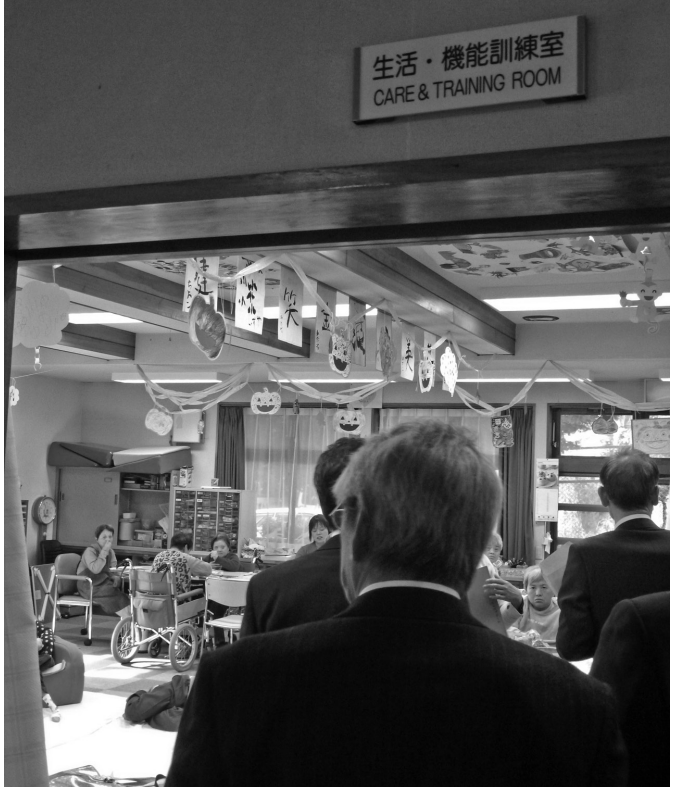
11/12-13

◇参加者：議員6名・町職員4名

知的障害者のケア

デイサービス『たんぽぽホーム』
（前橋市江木町）

町内に平成25年4月に開所予定の障害者デイサービスセンターに活かすため、類似施設を見学しました。



生活・機能訓練室（たんぽぽホーム）

ごみリサイクルの現況

関商店（茨城県古河市）

放射性廃棄物の処理

新和企業（茨城県北茨城市）

みなかみ町より排出される汚泥の最終処分場、及びごみ固形化燃料（RDF）の再生化の現状を確認しました。

本町アメニティパークからの固形化燃料（RDF）処理を請け負う（関商店）

セシウム濃度が基準値を上回っている廃棄物が処分される（新和企業）

◇このほか、11月20日に水上火葬場の視察を行いました。

産業観光常任委員会

視察報告

次回はみなかみ! 全国源流サミット

四万十川源流点ほかサミット会場（高知県津野町）

10/18-20

◇参加者：
議員5名・町職員4名

平成25年夏に源流サミットがみなかみ町で開催されることから、今回の開催地である四万十川源流の津野町を視察しました。

“源流”を擁する自治体の首長が一堂に会する（津野町役場）

今回の会場である津野町から開催地を引き継いだ

最終処分場と観光地の共生

ウィズウェイストジャパン最終処分場（草津町）

11/19

◇参加者：
議員8名
町職員3名

ごみ最終処分場埋め立て地の利用方法について研修しました。

埋立地を利用したレタスの水耕栽培

海外視察研修

◎報告会開催
カルチャーセンター 2/19(火)14:00～(予定)

11/28-12/4 イタリア アグリツーリズモ※調査・研修事業

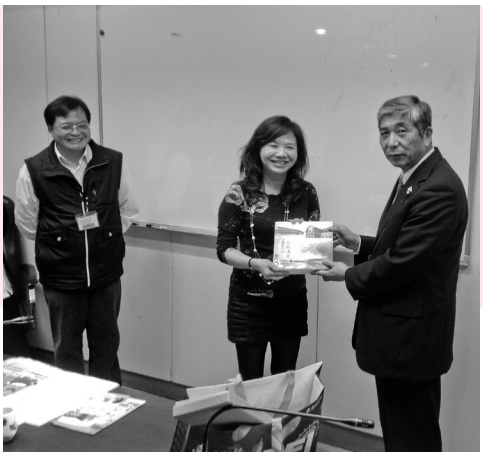
農業経営者による宿泊施設やレストラン等の複合経営、及び副業としての体験学習やイベントメニューの提供方法を研修しました。

アグリツーリズモ経営者宅からの風景

アベトーネ市役所 農業活性化室

※アグリツーリズモ
「都市と農村の交流」のこと、実際には農場で休暇を過ごすことをいう。
ヨーロッパが発祥地で、近代化進行により失われつつあった自然調和の生活が、再評価されたもので、地域振興という側面をもっている。

派遣議員　1名
訪問先　トスカーナ州 アベトーネ市役所
フィレンツェ市 イタリア農業連盟
フィレンツェ郊外 アグリツーリズモ



12/18-20 台湾交流事業打ち合わせ会及び群馬県観光プロモーション（現地説明会）

みなかみ町のインバウンド事業展開の機会創出のため、観光協会や商工会と参加しました。

目的　派遣議員　1名
訪問先　台北市温泉発展協会
高雄市（群馬県観光説明会・商談会及び知事懇談会出席）

12/19-22 台湾との交流現地調査

前回の台湾交流調査に基づき、果樹交流を通しての、文化・物産交流を展開する機会創出の調査を行いました。

派遣議員　2名
訪問先　台南市政府
台南市果樹生産者

一般質問

町政を問う

3人が質問を行いました。

主　な　内　容

● **島崎　栄一**　1町の観光施設について　……10

● **阿部　賢一**　1支所機能のこれから　……11
2救急医療情報キット（命のバトン）を
透析患者、身体障害者宅へ配布を

● **原澤　良輝**　1自然を生かした観光の活性化について　……12
2子育て支援について
3太陽光発電を推進することについて

○一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果があります。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっています。

島崎 栄一 議員

町から観光施設への金の流れが不透明では

町長 町負担減らす方向で努力している

「ドールランドみなかみ」として生まれ変わった桃李館

問 町の財政を悪化させた原因に、観光事業に行政が手をだし、あちこちに第三セクターの施設を造ってきたという例があります。

みなかみ町では、桃李館で指定管理料年間三二〇万円の他に、事業推進委託料なるものをつくり年間三一〇万円を渡しています。豊楽館にも事業推進委託料四五〇万円を予算計上しました。他にもたくみの里の電話受付事業に六五〇万円を出しています。まんてん星では指定管理料はゼロですが、三国館を切り離し、そこに五〇〇万円渡しています。遊神館は町直営で年間一四〇〇万円ほど税金をつぎ込んでいます。

水紀行館は指定管理料ゼロ、矢瀬の直売所は指定管理料一七八万円、下新田の太助の直売所は指定管理料一〇〇万円と比較検討したとき、公平な比較ができなくなります。

民間の観光施設は、自ら資金を集めて施設を建設し、収益でその返済を行いながら、固定資産税を払い、町民を雇用し、農産物などを仕入れ、景観も良くしながら地域振興にがんばっています。

合併の特例期間を過ぎれば、みなかみ町の地方交付税は十一億円減ります。

桃李館等は、独立採算の体制をつくれれば続けることもできるでしょうが、今のような補助金だよりの体質のままでは、施設閉鎖になってしまうでしょう。

町は、観光施設に対し、統一した対応をすべきであり、長期的な方向づけを良く考えて運営していくべきだと思いますが。

答 町長 指定管理制度の導入は、直接町が運営するのではなくて、民間の経営感覚を取り入れて、サービスの向上と経費の削減を図ることです。

また利用率も向上させ、全体として行政改革を進めている町として、なるべく持ち出しを抑えたいという方向で取り組んでいます。

答 まちづくり交流課長 おのおのの施設が果たしている役割、さらにはその効果・意義等をよく検証すると共に、利用者や地域の意見等を聞きながら、さらには議会の皆様にも相談しながら、その方向性を見出していくことが重要だと思っています。

阿部 賢一 議員

救急医療情報キット「命のバトン」※活用現況は

町長 高齢者一四九六人に配布済み

※命のバトン（救急医療情報キット）
医療情報を収納するもので、自宅に保管し、緊急時には当事者に替わり救急隊や医療従事者に情報が手渡され、適切な処置を速やかに受けられるようにするもの。
町民福祉課地域包括支援センターでは、65歳以上の独居高齢者や配布を希望される高齢者のみの世帯の方と介護保険認定者に、無償配布をしています。

問 「命のバトン」の配布状況は。

答 町長 独居高齢者や介護保険認定者を中心に、現在一四九六人に配布済みです。

問 六十五歳以上の高齢者の方という認識でよいでしょうか。

答 町長 町内に住所を有し居住している条件のある、六十五歳以上の独居高齢者・高齢者世帯・要介護者・要支援認定者・重度身体障害者・療育手帳所持者、六十五歳以上で配布を希望する者です。

問 透析患者への対応は。

答 町長 「障害者」の中で該当していますので、要望していただければすぐお届けできます。

救急医療処置に必要な情報を収められるようになっている

■行財政改革行動指針 支所の扱いと行政規模目標の今後は

問 支所をどのようにしていく考えでしょうか。

答 町長 行財政改革行動指針に、支所を出張所に変更すると書いてありますが、除雪センター・農政など、緊急性・専門性を要する業務に対応できません。議会、地域の方の意向を聞きながら、十分考えていきたい。

問 町民の方々が不親切感を感じたり、心配したりすることのない対応をして下さい。

答 町長 十分住民の方にご理解をいただくことを考えます。支所機能は大事にしていかなければいけないと認識しています。

問 行財政改革行動指針における、財政一〇〇億円・職員二四〇人規模への決意は。

答 町長 財政規模一〇〇億円を堅持したい。しかし、過疎対策債など、特例的に不利にならないものがあれば、一〇〇億円にこだわらない方がよいと考えます。
現在二八五名の職員を、平成二十七年度までに二四〇人にすることは、現実的には厳しいです。しかし堅持する努力は続けます。

問 水上支所が老朽化していますが。

答 町長 内部を一部壊して直していくか、別途のものを建てるか議論が分かれます。方向性は定まっていません。

問 新しい建物はいかがなものかと思います。
有効的に合同で使える施設があるとすれば、選択肢の中に入れて下さい。

答 町長 東電PR館・JA水上支所など検討の対象です。
地域の意見集約を行い、既存施設の有効活用についても検討の対象に入れていく必要があります。

原澤 良輝 議員

太陽光発電施設で地元産業の育成を

町長 困難多いが取り組みは続けたい

環境に優しい電源として実用化が模索されている

問 電力の固定価格買取制度が始まり、五〇〇kw前後の発電施設で地元の企業を育成しながら、原子力に替えて再生可能エネルギーの利用を促進する考えはありませんか。

答 町長 ソフトバンクのメガソーラーに町も応募しましたが、高圧線との接続が難しく対象外になりました。一メガWの発電所でも、資材・施工業者も町外になり、稼働後も雇用がない欠点もあります。

町が主体となって太陽エネルギーを利用する取り組みは重要なので、着実に推進していきたい。

■子育て支援

出産祝金は従来の額に戻すべき

問 出産祝金は、三年前に子ども手当が二万六千円になったときに半減され、また昨年で一万円になってしまいました。

出産祝金を元に戻すなど、子育て支援を充実してはどうでしょうか。

答 町長 滞納があると出産祝金が出ませんが、改善したいので、さっそく条例改正をしたいと思っています。

出産祝金が十分かどうか、議会で議論を集約すれば、増額の方向で素直に出産をお祝いしたい。

■輸送機オスプレイの町内訓練

安全性は確認されたのか

問 輸送機オスプレイは事故率が高く、複雑な送電線網や急峻で気流の変動が激しい本町の山岳地帯で実施する超低空訓練は、事故の確率がさらに高くなります。町も被害者となります。

防衛省からの説明はあったのですか。

答 町長 防衛省からの資料を専門的に分析できないので、本町としては、国の発表通り安全性は確認されたと考えます。観光への大きな影響はないと思います。

同機の訓練ルートが町上空にあるのは非常に大きな問題です。訓練の頻度が高くなれば町の測定機で調査し、観光への影響も含めて、県との連携への協力はできます。

研修会に参加しました

県議員研修会に参加（全議員）

10/24 吉岡町文化センター

県町村議会議長会の研修に参加し、住民自治の向上や災害対策について研修を受けました。

読みやすく親しみやすい議会だよりにするための研修（議会だより編集特別委員）

全国・県町村議会議長会の広報研修会にそれぞれ参加し、講義などを受けました。

10/29-30
シェーンバッハ・サボー
（砂防会館別館会議室/東京都）

全国町村議会広報研修会（東京）

11/27 県市町村会館（前橋市）

県町村議会広報研修会（前橋）

議会の動き

＊平成24年11月～平成25年１月
※議会議員および議長が出席した行事

11月	1(木)	JR上越新幹線開通30周年記念式(メトロポリタン)
	3(土)	文化祭開会式(カルチャー)
	4(日)	文化祭「菊花展」(カルチャー)
		JA農業まつり水上(水紀行館)
		俳歌壇表彰式(カルチャー)
	7(水)	地域安全パレード(水上支所)
		月夜野グランドゴルフ協会打上大会(ホッケー場)
	9(金)	教育環境特別委員会
		厚生常任委員会
	11(日)	農業まつり新治(新治支店)
	12(月)	厚生常任委員会視察(～13、茨城・福島)
		利根郡諸長会
		広域議員協議会(利根商・文化会館)
	13(火)	利根沼田地域食談会(ベラヴィータ)
		総務省シンポジウム(ベラヴィータ)
	14(水)	町村議会議長会全国大会豪雪地帯町村(NHKホール)
	15(木)	ホタル表彰式(中央公民館)
	19(月)	産業観光常任委員会視察(ウィズウェストジャパン)
	20(火)	土地開発公社理事会
		厚生常任委員会
	21(水)	天神平スキー場安全祈願祭
		老連新治支部芸能大会(新治農村環境改善センター)
		一般質問・蹟願・陳情12月議会分締め切り
	22(木)	知事との懇談会(アニバーサリーコートラシーネ)
	23(金)	利根沼田青少年柔剣道大会(利根商)
	25(日)	神道一心流中興記念碑除幕式(玉泉寺)
		生涯学習大会
	26(月)	議会運営委員会
	27(火)	議会広報研修会(市町村会館)
	28(水)	広域組合議会(利根商)
		議会(広域消防本部)
		イタリアアグリツーリズモ調査(～12/4)
12月	2(日)	猿ヶ京交流公園開設10周年記念公演(三国館)
	5(水)	第6回みなかみ町議会12月定例会(初日)
		水上スキークラブ総会(水上中央公民館)
	6(木)	委員会(～10)
	13(木)	観光振興計画策定事業(観光センター)
		ノルンスキー場・宝台樹スキー場安全祈願祭
	14(金)	第6回みなかみ町議会12月定例会(最終日)
	18(火)	台湾交流事業(～20)
	19(水)	台湾交流調査(～22)
		赤沢スキー場・水上高原スキー場安全祈願祭
	20(木)	文化活動発表会(利根商・第一体育館)
	23(日)	上毛高原駅周辺イルミネーション点灯式
		議会だより編集特別委員会
1月	7(月)	JA利根沼田新年祝賀会(ベラヴィータ)
	8(火)	県議会新年交歓会(県庁)
		上毛新聞社新年交流会(マーキュリーホテル)
	11(金)	新年賀詞交歓会(松の井)
	13(日)	消防団出初め式(総合体育館)
		成人式(カルチャー)
	15(火)	広域県議会・議長会(文化会館)
	17(木)	群馬県市町村トップセミナー(市町村会館)
	18(金)	議会だより編集特別委員会
	23(水)	議会だより編集特別委員会

インフォメーション

議会情報

前田善成議員が平成24年11月22日付で辞職されました。補欠選挙は、平成25年10月（予定）町長選挙と同時に行われます。

知っ特ミニ情報「道の駅」

高速道路のSA・PAのように、一般道路でも誰もが24時間自由に利用できる休憩施設やその地域の文化・名所・特産物などを活用したサービスを提供する施設が望まれるようになり「道の駅」は創設されたといわれます。

「道の駅」には鉄道駅のようにそれぞれの地域の核となり、道路を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待されています。

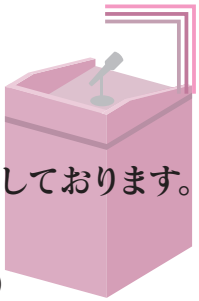
みなかみ町にもこのような「道の駅」は、「水紀行館」・「矢瀬親水公園」・「たくみの里」の3施設あります。

ほかに、特徴のある「道の駅」としては、鉄道駅舎併設、鉄道駅前設置、ハイウェイオアシス併設、SA・PA運営、IC併設、みなとオアシスと重複、海の駅と重複、空港併設、臨時期間限定、その他などがあるようです。

議会だより編集特別委員会

◆委員長　阿部　賢一
◆副委員長　中島　信義
◆委　　員　小林　　洋
　　内海　敏久
　　林　　一彦

議会を傍聴してみませんか？



◆3月の定例会は、7～15日を予定しております。

―お問い合わせは―　議会事務局まで
☎25－5023(直通)

みなかみ議会だより
発行／みなかみ町議会
〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318 ☎0278-25-5023 発行人／議長 森下 直
編集／議会だより編集特別委員会
印刷／㈲東洋プロセス ☎0278-62-1414 FAX0278-62-3300

町民ひろば

故郷の歴史は宝の山

みなかみ町歴史ガイドの会
副会長 **高橋 俊信**（下 津）

三七〇〇人余り、四月より十二月中旬までに名胡桃城址案内所で会員が直接ガイドした来町者の数である。平成二十一年十二月に設立された『みなかみ町歴史ガイドの会』は、現在会員数三〇名、当番制で週六日ガイドを務めている。毎月定例研修会を開催し、渋谷浩顧問の指導で町内各地に残る歴史遺産の学習や、矢瀬遺跡や名胡桃城址での現地ガイド演習を行うなど、ガイド力の向上に努めている。

昨年は三国街道を起点高崎宿より永井宿まで訪ね、本年には三国峠を徒歩で越えて、現在までに残されてきた歴史の証人と対面した。

三月には県立文書館次長の岡田昭二氏を講師に招き『三国街道を語る』の講演会を開催し、百数十人の町民の参加を得られた。会場には三国街道の資料をパネル展示をし、終了後案内所にて三国街道展コーナーを設けて展示中である。

八月には小中学生を対象に『第二回郷土の歴史を知ろう、絵画・作文コンテスト』の作品を募集し、八三名の応募があった。作品は十月表彰式の後、案内所に展示公開をした。

十月には名胡桃城事件の当事者として登場する後北条氏の理解を深めることを目的として、小田原城や鉢形城を訪れ実地研修を行った。現在名胡桃城事件を紹介する紙芝居の制作が進行中である。

これからも会員一同の知恵と力を結集して新しい企画に挑戦し、みなかみ町の情報発信に努めたいと思う。

名胡桃城址のガイドを行う

みなかみ町歴史ガイドの会メンバー

ふるさとクイズ

★正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈致します。
ぜひご応募ください。

問題 みなかみ町に「道の駅」はいくつあるでしょうか？
Ⓐ. 3　Ⓑ. 2　Ⓒ. 1

応募のきまり ハガキに住所・氏名・答えを記入して下記宛にご応募ください。
〒379-1393　群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ町議会事務局　議会だより「ふるさとクイズ」係
締切：平成25年2月28日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせて頂きます。